

危険体感研修の概要について

2020年10月28日
北海道電力株式会社

余 白

・ 工事などの現場で起こりうる「危険な状況」を、安全な環境で実際に体感していただける施設です。

・ 様々な危険を疑似体感することで「危険な状況を見抜く力（危険感受性）」の向上につなげていただけます。

現場における「危険な状況」の一例

落下物

感電

転倒・転落

巻き込まれ

- ・当研修は企業や団体のお客さまが対象です。
- ・お客さまのご希望や業種に応じて、3つのコースから選択いただけます。

基本コース

- 項目数：29項目
- 所要時間：3.5時間
- 業種を問わず、作業時の様々な危険を体感

< 滑り転倒危険体感 >



製造業コース

- 項目数：21項目
- 所要時間：2.0時間
- 感電や回転体（ローラーやチェーン等）の巻き込まれなどの危険を体感

< 手動式チェーン巻き込まれ体感 >



土木建築コース

- 項目数：17項目
- 所要時間：2.0時間
- 落下物や安全帯ぶら下がりなどの危険を体感

< 安全帯ぶら下がり危険体感 >



3. 研修プログラム①

番号	危険体感項目	体感項目内容	基本コース	製造業コース	土木建築コース
1	ポケットハンド危険体感	ポケットハンドをしたまま、不意に後方から押されて体制を崩すと、いかに危険かを体感。	●		
2	60kg墜落衝撃危険体感	人間の体重に見立てた60kgのタックルバックを5mの高さから落下させ、その時の衝撃と衝撃荷重を表示して墜落を体感。	●		●
3	墜落衝撃危険体感	5kgのウエイトを5mの高さから落下させ、ネットで受け止めることによりその時の衝撃力を体感。	●		●
4	飛来落下危険体感	400gのラチェットレンチを5mの高さから落下させ、人間の頭蓋骨と同強度の植木鉢に当て、自分の頭に落下した場合を想像。	●		●
5	安全帯ぶら下がりが危険体感 (フルハーネス2人/腹2人)	安全帯を装着し使用中と仮定し、高所から転落した場合の衝撃までは体感しないものの、吊られた状態で体に掛かる荷重を体感。	●		●
6	高所開口部危険体感	高所で作業する際の安全帯の使い方、手すり高さの有効性など、実際の高所を体感させて高所における注意点を学習。	●		●
7	酸欠測定危険体感	酸素濃度測定器は18%以下で危険を知らせる警報がなるが、息を袋の中で吸ったり吐いたりして酸欠危険濃度を体感。	●		
8	感電危険体感(掌・ドライバー)	50mA・3secの電流が心臓に流れると死に至ることから、危険のない5mA・100msecの電流で感電体感を体験。	●	●	
9	コンデンサー帯電危険体感	コンデンサ回路を有している場合、電源を遮断しても電荷が残っているので、実際にショートさせて危険を体感。	●		
10	指挟み危険体感(手の甲と指先)	50gの鉄球を高さ10cmから指先に落下させ、その衝撃荷重を指先に体感。	●	●	
11	手動式チェーン巻き込まれ危険体感	駆動しているチェーンに不用意に指を入れると、瞬時にスプロケットに指が巻き込まれる危険な状態を体感。	●	●	
12	卓上ドリル危険体感	回転するドリルに軍手が一瞬で巻き込まれる状況や、竹棒がドリルに接触した場合の危険な状態を体感。	●	●	
13	回転体巻き込まれ強さ危険体感(ロープ)	回転体にロープが巻き込まれる時、そのロープを手で止めようとした時に人の力では止められない危険な状態を体感。	●	●	
14	ローラー巻き込まれ危険体感(ダミー人形)	ダミー人形を回転するローラーに近づけ巻き込ませて、ダミー人形の手・腕が引きちぎれる危険な状態を体感。	●	●	
15	ローラー巻き込まれ危険体感(竹棒)	竹棒を回転するローラーに近づけ巻き込ませて、竹棒が引き込まれ破断する危険な状態を体感。	●	●	
16	稼働設備清掃巻き込まれ危険体感(ウエス)	回転する稼働設備の清掃作業を想定し、回転体にウエスが簡単に巻き込まれる危険な状態を体感。	●	●	
17	小型ローラー挟まれ危険体感	実際に小型のローラーに手を押し当てることにより、ローラーに手が引き込まれていく危険な状況を体感。	●	●	

3. 研修プログラム②

番号	危険体感項目	体感項目内容	基本コース	製造業コース	土木建築コース
18	脚立作業危険体感	不安定な場所での使用や開止め金具外れ時の状態を再現させ、その危険を体感。	●	●	●
19	縄梯子危険体感	昇降設備の無いタンクやサイロ内での作業を想定し、実際に数段昇降させて、縄梯子の不安定な状況を体感。	●	●	●
20	梯子危険体感	一般的に使用する梯子でも、安易に使用すると非常に不安定になる危険な状態を体感。	●	●	●
21	一本吊り危険体感 (3mmワイヤー)	ワイヤーで1本吊りをすると撚りが戻り、吊り荷が回転し強度が60%に低下して、ワイヤーが切断し危険な状態を体感。	●	●	●
22	荷振れ強さ危険体感 (1tウェイト)	荷を吊上げる場合、吊り芯がずれたまま吊上げると、思わぬ方向に荷が振れて人の力では止められない危険な状態を体感。	●	●	●
23	安全靴強度体感 (1tウェイト)	安全靴とスニーカーの中に竹棒を入れ吊り荷の下に置き荷を降ろした場合、安全靴中の竹棒が割れないことを確認し安全性を再確認。	●	●	●
24	吊り荷激突危険体感 (1tウェイト)	狭い場所での荷を吊上げる場合、吊り芯がずれたまま吊上げると、思わぬ方向に荷が振れて作業者に激突する危険な状態を体感。	●	●	●
25	手指挟まれ危険体感(玉掛け時)	玉掛け時にワイヤーと吊り荷の間に指の代わりに竹棒を挿入し、荷を吊って竹棒が破壊される危険な状態を体感。	●	●	●
26	階段歩行危険体感	階段の一部に傾斜を付け普段どおりに通行することにより、下半身に掛かる不安定な状態を体感させ、手すりの重要性を学ぶ。	●	●	●
27	滑り転倒危険体感	平板・足場板・ボールローラー・縞鋼板・フリーローラー等の上を歩行させて、滑り転倒の危険性を体感。	●	●	●
28	台車の死角危険体感	台車に載せる荷物の量によって、前方の死角の範囲が変わることを体感させ、危険予知の感受性向上を図る。	●	●	●
29	酩酊危険体感	酩酊ゴーグルを装着し、床上の黄色ライン上を歩行し、正常に歩行できるか体感。	●	●	●

◎ 開催日

【単独開催】

・1団体のお客さままで実施される場合は、毎週月曜日・水曜日・金曜日からお選びいただけます。

【合同開催】

・他のお客さまと合同で実施される場合は、コース別に当社が指定した日程での開催となります。

※基本コース：毎月第2火曜日、製造業コース：毎月第3火曜日、土木建築コース：毎月第4火曜日

◎ 料金 (税別)

① 単独開催・・・120,000円／回 (最大10名)

② 合同開催・・・15,000円／名

・受講にあたり、万が一のお客さまのケガ等、不測の事態に備えた保険料は料金に含まれております。

○ 料金の一例

・1団体7名様の場合

単独開催・・・120,000円 × 1回 = 120,000円

合同開催・・・15,000円 × 7名 = 105,000円

・1団体20名様の場合

単独開催・・・120,000円 (10名様) × 2回 = 240,000円

◎お申込み方法

- ①当社のホームページより「危険体感研修申込書」をダウンロードしていただき、必要事項を記載のうえ、FAXまたはメールにてお申込みください。
- ②当社で受付後、代表のお客さま宛にご連絡いたします。

◎お問い合わせ先

北海道電力株式会社 火力部火力技術研修センター
勇払郡厚真町字浜厚真615番地

TEL：0145-28-3601

FAX：0145-28-3604

Mail：taikan-kkc@epmail.hepco.co.jp

受付時間 9：00～17：00

(土・日・祝日、12月29日～1月3日、5月1日を除く)